





●給排気筒トップは上方及び両側に気流を阻止する障害物が ないこと。

●雪の多い地方では、最高積雪面より50cm以上離れる場所に、 給排気筒を取り付けてください。

■図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検 や性能維持のため、不燃物などの場合も図の離隔距離とし てください(※2部は除く)。

注(※1)防火上、必要な可燃物との離隔距離は10cm以上です。 図では左側面に可燃物がありますが、設置上では左側 面または右側面いずれかを保守管理のため、30cm以 上離すことを推奨します。

> (10~30cmまで近づける場合は、前面ガードに附属の 遮熱板を取り付けてください。)

(※2) 60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以 上とする。

(特定保守製品) 型式の呼び FFR-709KF 種類 ポット式、強制給排気形、強制対流形 点火方式 電気点火 使用燃料 灯油(JIS 1号灯油) 燃焼状態 最大 最小 燃料消費量 8. 14kW (0. 791L/h) 2. 16kW (0. 21L/h) エネルギー消費効率(区分名) 86. 0% (B) 暖房出力 7.00kW(6,020kcal/h) 1. 61k\(\)(1, 380kcal/h) 定格消費電力 最大(点火時に短時間発生):620/620W (50/60Hz) 点火時:335/340%、燃焼時:40/40% 待機時消費電力 0.5/0.5W 外形寸法(置台を含む) 高さ:590mm、幅:750mm、奥行き:379mm 27kg 質量 電源電圧·周波数 100V · 50/60Hz 電流ヒューズ(各1個) 筒型 20mm 5A、筒型 20mm 10A 給排気筒の型式の呼び FWT-7M-5 給排気筒の呼び径 D49 給排気筒径 70mm 給排気筒の壁貫通部の孔径 83~96mm 給排気筒延長限界 3m3曲がり以下 排気温度 260℃以下 安全装置 対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置 点火安全装置、過熱防止装置、不完全燃焼防止装置 その他の装置 排気管抜け検知装置 附属品 置台(1)、壁固定金具(1)、上面ガード(1)、遮熱板(1) ワイヤーバンド(大)(1)、ワイヤーバンド(小)(2) ゴム製送油管(1.2m)(1)、給排気筒セット(1) 排気管断熱カバー(1)、ストッパーリング(1) 4×10タッピンねじ(1)、4×25タッピンねじ(4) 取扱説明書(保証書付)(1)、工事説明書(1)

特定保守製品説明書(1)、所有者票(1)、保護シール(1)

PSC対応品

//			<i>y</i>	<i>III</i> .	
		<b>月</b> 可燃物			
	給気	60以上 (※2) 排気	r.		可整物
	Û	60以上 30以上	可燃物		45以上 45以上
,		可燃物・地面・スラブ面など	最大積置面より 50cm以上		// 可滋物 //

150以上

///可燃物

150以上

30以上 (※1)

可燃物

品名		F	式石油暖房	型式	FFR-709KF K (W)	
承 認	検図	設計	尺 度	<b>—</b>	図面番号	WY3-0448
饈			1:15	単位 mm	#:	ノポット株式会社